



# 県民だより

## 介護保険制度が来年4月から始まります

### みんな 支える 老後の安心



まずは、  
要介護認定の  
申請から

わたしたちはいま高齢社会に生きており、二十一世紀の半ばには三人に一人が高齢者という時代を迎えようとしています。寝たきりや痴呆など介護が必要な高齢者が急増する一方、介護する方の高齢化や働く女性の増加などに伴って家族だけで介護することが非常に困難な状況になっています。介護を必要とする状態になっても、住み慣れた自宅や地域で、本人や家族の希望が尊重され安心して暮らせるよう、介護を社会全体で支える新しい制度として「介護保険制度」が生まれました。

### 介護保険ってどんな制度？

介護保険は、皆さんがお住まいの市町村が保険者となり制度を運営します。国や県も財政面、事務処理面で市町村を支援しています。介護保険に加入し保険料を納めていただくのは、四十歳以上の方（被保険者）です。被保険者には四十歳以上六十四歳までで医療保険に加入されている方と六十五歳以上の方の二つの区分があり、保険料の額や保険料の納入方法等が異なります。

### 40歳以上の方は、平成12年4月から 保険料を納めることになります

対象者	40歳～64歳までの方	65歳以上の方
納入方法	加入している医療保険料と合わせて納めていただきます。	年額18万円以上の年金を受けている方は年金から天引きされます。それ以外の方は個別に市町村に納めていただきます。
保険料の額	加入している医療保険の算定方法に基づいて設定されます。	市町村が所得に応じて5段階に分けて設定します。

利用できるサービスの内容は、在宅あるいは施設での介護サービスで、利用者が自らサービスの種類等を選択することができます。また、サービスの利用に際し一割の利用者負担があります。

### 要介護認定の申請が10月にスタート

介護保険のサービスを利用するには、「介護が必要な状態か」どの程度の介護が必要かについて認定（要介護認定）を受けることが必要です。介護が必要になった場合には、まず、お住まいの市町村の担当窓口にて要介護認定の申請をしてください。この申請受付が今年十月から始まります。

次の頁では、この要介護認定の申請等について説明します。

# サービスを利用するには申請を

● 社会全体で支える老後と介護

来年四月から開始される介護保険サービスを利用するためには、現在サービスを受けている方も要介護認定を受けていただく必要があります。

認定の申請から介護サービスを利用するまでの手続を、具体的な例で見ていきましょう。



## 要介護認定の申請



「おばあちゃんが倒れた！」  
大急ぎで病院に連れていくと、脳卒中との診断。しばらく入院し、治療を終えてひとまず退院してきました。でもこれからどうしよう。おじいちゃんはすつ

## 2



おじいちゃんは、介護保険のサービスの利用を勧められ、早速役場に相談に行きました。役場では要介護認定の申請をするよう教えられました。

かり頭を抱え込んでしまいました。食事やトイレ、入浴など、生活全般にわたって介護が必要になってしまったのです。でも、一人ではおばあちゃんの介護をきれない。どうしよう……。

## 要介護の認定

## 3



申請をすると、まもなく役場から調査員がやってきて、おばあちゃんの心身の状態や食事・入浴など生活の様子を聞き取っていききました。

これとあわせて役場では、おばあちゃんの主治医にも、意見を聞いたようです。

## 4



役場では、保健・医療・福祉の専門家で構成した介護認定審査会を開き、調査の結果と医師

## 5



の意見書をもとに、介護保険の対象になるかどうか、どのくらいの介護が必要かを判定します。

「おばあちゃん、介護サービス使えるって。なにに、要介護3と書いてあるよ」。おじいちゃんも役場からの通知を見て一安心。

## 6

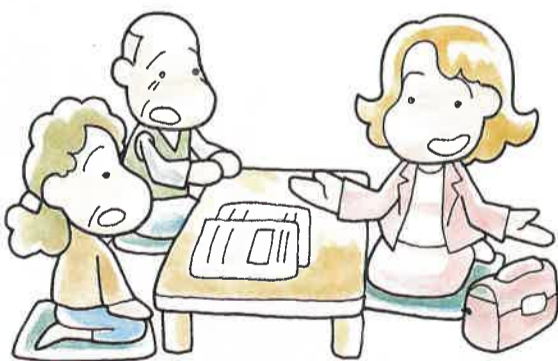


※認定は、要支援・要介護に分かれ、要介護は5段階に分かれます。なお、認定されない場合もあります。

※審査結果に不服があるときは、県に設置される「介護保険審査会」に審査請求ができます。

## 介護サービスの実施

## 7



ケアマネジャーと呼ばれる専門家に依頼して、サービス計画を立てることにしました。おばあちゃんの、「なるべく家にいたい。でも家族がいない昼間は日帰り介護施設へ」という希望を取り入れた計画ができました。

計画どおり介護サービスが始まりました。おばあちゃんは、親切なヘルパーさんや、施設の仲間と毎日楽しく過ごしています。最近は一人でトイレにも行けるようになってきました。

おじいちゃんも、おばあちゃんを施設に送り出した後、安心してゲートボールに出かけられるようになった。



### ◆ 問い合わせ

県高齢対策課

介護保険準備室

TEL 028-623-3148

県では、来年四月からの介護保険制度の開始と、それに先立つ今年十月からの要介護認定申請の受付開始に向けて、サービスの基盤(人材・施設)の整備のほか、各市町村への財政面・事務処理面での支援を行っています。また、この制度について、皆様理解していただくこと普及啓発に努めています。

## 制度の円滑な運営のために

誰もが、いつ介護に直面することになるかわからない現在の社会。その中で、介護保険制度は、高齢者が自立して生活でき、介護する側も安心して過ごせる社会を作ることを目指しています。

# トピックス

## 「首都機能を変える」総決起大会開催

国会等移転の候補地、三地域十府県の国会議員を中心に、「世紀が変わる、首都機能を変える」と題した総決起大会が、八月四日、東京で開催されました。

国会等移転審議会による移転候補地の答申を秋に控え、国民的関心を高めることが目的で、関係者千人以上が参加しました。渡辺知事は、大会の中で北東地域を代表し、「災害対応力の強化」の観点から移転の必要性を強く訴えました。

最後に、答申後の速やかな国会等移転先の決定などを要望する決議を採択して、国会等移転の実現を全国に強くアピールしました。

◆問合せ 県企画調整課  
TEL 028-623-3496



●北東地域を代表してスピーチをする渡辺知事

## 本番さながらに総合防災訓練

八月二十九日、足利市渡良瀬運動場で、県と足利市の共催により総合防災訓練が開催されました。今年、地震を想定した消火や

避難訓練に加え、昨年の八月末豪雨を教訓に、風水害を想定した水防訓練も実施しました。

訓練には、防災関係機関や市民の方など二千名以上が参加。また、足利市と災害協定を結んでいる両毛五市や、広域応援による他県のヘリコプターなども参加し、本番さながらの訓練が実施されました。

◆問合せ 県消防防災課  
TEL 028-623-2136



●3時間以上にわたり、様々な訓練が行われた

## インターハイで 本県高校生が大活躍

高校生最大のスポーツの祭典、'99全国高校総合体育大会（インターハイ）が、八月一日から二十日まで岩手県で開催されました。県からは、三十一種目に選手・役員・監督あわせて六四六名が参加。選手たちは日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、数々の素晴らしい成績を収めました。

主な成績（優勝者）

- 弓道団体男子 作新学院
- 走高跳 石原未来（真岡女子）
- 百位女子 黒沢茉莉子（矢板東）
- 空手道形 望月里奈（文星女子）

弓道 大塚征彦（鹿沼）  
ボクシング 水井健次郎（作新学院）



●本県選手団の入場行進

また来年一月には、本県日光市で冬季大会が開催されます。これからも、高校生たちの汗と輝く笑顔に、皆さまの温かいご声援をお願いします。

◆問合せ 県保健体育課  
TEL 028-623-3417

## 第七回シルバー文化祭開催

七月七日から九日まで、県総合文化センターで「第七回シルバー文化祭」が開催されました。約六千人が参加したこの文化祭では、長寿社会に向けての作文コンクールや、高齢者の方々によるコーラス、創作劇、ファッションショーなどが行われました。



●楽屋でくつろぐ出演者の皆さん

また、今年、国際高齢者年にあたることから、記念行事として、

映画「午後の遺言状」の上映会や監督新藤兼人氏の講演、「輝く老いに乾杯」と題したシンポジウムも行われました。

この他にも、絵画や工芸品などの作品展、工芸品や似顔絵などの実演コーナー、野点などもあり、期間中は大変な賑わいを見せていました。

◆問合せ 県高齢対策課  
TEL 028-623-3048

## 都市緑化フェア 「ばなばなメイツ」決定



●左から森田さん、手塚さん、大塚さん

本県で来年九月九日から行われる、第十七回全国都市緑化とちぎフェアのキャンペーンスタツフ「ばなばなメイツ」が決まりました。このフェアは花と緑の国内最大級のイベントで、みぶ会場・うつのみや会場の二カ所で行われます。パビリオンでの展示のほか様々なイベントが行われる予定であり、開催まで一年を切り、着々と準備が進められています。

三人のメイツは、去る九月六日に行われた一年前祭を皮切りに、フェアのPRのため、県内外各地でキャンペーン活動を行っていきます。



マスコットキャラクター ばなばな

◆問合せ 同実行委員会事務局  
TEL 028-623-2478

# ふるさとと便り

## 世界のトップを走った道

宇都宮市森林公園（福岡町）

ヨーロッパではサッカーと並ぶ人気を持つ自転車のロードレース。その最高峰といわれる大会が、宇都宮市森林公園で過去に二度開催されました。一九九〇年の「世界選手権自転車競技大会」と一九九六年の「ワールドカップサイクルロードレース」です。

コース上には、選手の名前や応援の言葉が残され、世界のトップが繰り広げた熱戦が今も甦ります。またこのコースは誰もが自転車で走ることができ、休日には多くのロードレースファンで賑わいます。

毎年十月（今年は三十一日（日）開催）には、二つの世界大会を記



念し「ジャパンカップサイクルロードレース」が開催されます。世界の走りを観戦に、出かけてみてはいかがでしょうか。

◆問合せ 同公園（除火曜日）  
TEL 028-652-3450

ジャパンカップ実行委員会  
TEL 028-632-2736

# とちぎに国会を!!



## ●那須地域の紹介

今回は産業の面から、那須地域の特徴である農業と観光についてご紹介します。

◎農業 1戸当たりの耕地面積が県平均の約1.3倍と大規模な農業経営が見られます。稲作が盛んで、農業粗生産額のうち米が4割を占めており、品質にも定評があります。県北コシヒカリは、日本穀物検定協会による食味ランキングでも、最高クラス「特A」に過去10年間で5回入っています。畜産も盛んであり、全国でも3位の生産額を誇る本県の乳用牛のうち、7割が那須地域で生産されています。

◎観光 那須地域は、那須高原・塩原温泉など、全国でも有数のリゾート地。那珂川の清流・公営の温泉（那須地域全市町村にあります）や多くのテーマパークもあり、様々な観光資源に恵まれています。ゴルフ場やレジャー施設も多く、滞在型の観光客が多く訪れます。

◆問合せ 企画調整課 国会等移転対策室 TEL 028-623-2208

# マロエド ガイ



## 花 歳 時 記

### エゾリンドウ (リンドウ科)

那須高原の秋を彩るリンドウで、茶臼岳方面の山岳部に多い。葉が細長く、花もあまり開かないのが特徴。

#### ウォッチングポイント

那須鉦山事務所跡から朝日岳方面への登山道沿いに見ることができます。9月18日(土)~19日(日)には那須町湯本的那須高原体育センターで「那須温泉りんどう祭り」が開催されます。

## カルチャー CULTURE

### 県総合文化センター

- 第4回カルフル・シアター劇団前進座公演 子どものための創作歌舞伎「土蜘蛛退治-金太郎と山んぼ」 11月7日(日)午後3時~栃木市文化会館 ☎0282(23)5678 11月8日(月)午後6時30分~県総合文化センター
- アンナ・クオソプラノリサイタル 12月4日(土)午後6時30分~カーロ・ミオ・ベン他
- 劇団四季ファミリーミュージカル『王様の秘密』 1月9日(日)午後3時~9月19日発売開始 問合せ ☎028-643-1010

### 県立美術館

- 企画展「メティテーション-真昼の瞑想」 9月26日(日)まで
- 日本の現代美術の特徴の一つである内面的傾向を掘り下げ、現代社会にあって人生の根源的な問題に関わり続ける作家14人の作品80点を紹介します。
- 企画展「第53回栃木県芸術祭美術展」 県内公募入選・入賞作品-洋画・彫塑・工芸- 10月9日(土)~20日(水) 問合せ ☎028-643-5288



森田井智之「海に落ちる山川」1999年

### 県立博物館

- 第65回企画展(写真)「麻-大いなる繊維-」 10月24日(日)まで
- テーマ展①「博物館の資料はどうやって集めるの?」 9月15日(水)~11月7日(日)
- ②「二宮尊徳直筆資料展」 9月18日(土)~10月24日(日)
- 体験学習「公園の虫やチョウを観察しよう」 10月11日(月)
- ワークシートに挑戦 10月9日(土) 問合せ ☎028-634-1312



### 県子ども総合科学館

- おりがみワールド 9月19日(日)~30日(木)
- おりがみでトトロの世界を表現します。
- 科学工作作品展 9月23日(木)~10月3日(日) テーマ「楽しいおもちゃを作ろう」
- プラネタリウム 新番組を上映しています。



プラネタリウム番組 「スターファンタジー-ピノキオの冒険」

## 県政

### 催し

- 動物愛護指導センターの催し
- ◎'99とちぎ動物愛護フェスティバル 9月26日(日)午前10時~午後3時 内容 犬のしつけ方実演、動物何でも相談他
- ◎動物愛護絵画コンクール作品展 9月18日(土)~10月3日(日)午前9時30分~午後4時 ※いずれも入場無料
- ◎会場、問合せ 同センター ☎028-684-5458
- 栃木県少年の主張発表大会 9月28日(火)午後1時~4時40分 会場 宇都宮市立陽北中学校(宇都宮市今泉町) 県内の中学生が日常生活の中で感じていることや、考えていることを発表 問合せ 県女性青少年課 ☎028-623-3075

- 日光・那須リゾートの旅スタンプラリー 実施期間 10月1日(金)~平成12年1月16日(日)まで 応募方法 リゾート地域7市町村内(那須町、黒磯市、塩原町、藤原町、栗山村、今市市、日光市)の38施設のうち3カ所のスタンプをパンフレットに付いているハガキに押印して、スタンプラリー事務局(黒磯市総務部企画課)まで郵送 賞品 ハワイ旅行ペア(特賞)、旅行券3万円分(リゾート賞)他 問合せ 県地域振興課 ☎028-623-2257、黒磯市 ☎0287-62-7106)他参加市町村企画担当課

- '99とちぎ住宅フェア 10月8日(金)~10日(日)午前10時~午後5時(最終日は午後4時まで) マロニエプラザ(宇都宮市元今泉) 内容 住宅展示、公庫融資ミニ講座、お楽しみ抽選会他 入場無料 問合せ 県住宅課 ☎028-623-2482

- とちぎ海浜自然の家第2回親子の集い 10月23日(土)~24日(日)1泊2日 内容 地引き網、砂浜ハイキング、マリンキャンドルの集い他 定員 栃木県民で3歳以上の子供と親300名 参加費 大人5,300円他 申込み往復ハガキで同自然の家(茨城県鹿島郡旭村玉田336-2)へ 締切り 10月2日(土)必着 問合せ 同自然の家 ☎0291-37-4004

- 緑の相談所の催し 【中央公園 ☎028-636-7621】 ◎講座「フラワーアレンジメント」 9月26日(日)午前10時~11時30分 定員 30名 教材費 2,500円 【井頭公園 ☎0285-82-4475】 ◎グリーンバザール 9月23日(木)~26日(日) 【那須野が原公園 ☎0287-36-1220】 ◎秋の山草と斑入り植物展 9月17日(金)~19日(日) 【みかも山公園 ☎0282-55-7733】 ◎花から生まれる豊かな暮らし展 9月28日(火)~10月12日(火)

### 募集

- '99福祉のしごと就職ガイダンス 9月18日(土)午後1時~4時30分 会場 アピア(宇都宮市戸祭元町) 対象 福祉の仕事希望する方など 参加無料、申込み不要 問合せ 県社協/福祉人材情報センター ☎028-643-5622

- 働く女性のためのセミナー 10月21日(木)午後1時30分~3時30分 会場 県庁足利庁舎(足利市) 内容 講演「自分らしく生きる“一秒の重さ”」/石川牧子(日本テレビアナウンス部部长) 受講料無料 応募方法 電話またはFAXで 応募先、問合せ 県足利労政事務所 ☎0284-41-1241、FAX 0284-41-1280

### 試験

- 理容師・美容師学科試験 試験日 10月24日(日) 会場 作新学院(宇都宮市) 願書受付 9月29日(水)~10月5日(火) 受験料 11,000円 問合せ (財)理容師美容師試験研修センター ☎028-625-2660

### 案内

- 住宅金融公庫融資返済条件の変更 住宅金融公庫では、公庫の住宅ローン返済でお困りの方を対象に、相談や返済条件の変更を受け付けております。詳しくは、公庫支店、取扱金融機関へ 問合せ 県住宅課 ☎028-623-2483又は公庫北関東支店 ☎027-232-6170
- 米穀販売業の登録申請について 計画流通米の小売業または卸売業を行おうとする場合、知事の登録を受けなければなりません 申請期間 9月15日(水)~10月31日(日) 申請方法 所定の様式により、申請者の住所を管轄する県農政事務所(卸売業は県農産課)へ 問合せ 各農政事務所または県農産課 ☎028-623-2333
- 屋外広告物条例の改正のお知らせ 栃木県屋外広告物条例が改正され、10月1

日(金)から施行されます。この改正は、本県が持つ美しい自然景観の保全と、それと調和した都市景観が形成されるよう、原則県内全域を許可地域とするとともに、許可地域を5区分し、それぞれの地域特性にあった基準にするなど、新たな規制・誘導を図るものです 詳しくは、県都市計画課(☎028-623-2463)へお問い合わせください。

- 秋の交通安全県民総ぐるみ運動の実施 期間 9月21日(火)~30日(木) 運動の重点 ①高齢者の交通事故防止②シートベルト着用の徹底とチャイルドシートの着用促進③交差点・カーブの交通事故防止

- 2つの地方合同庁舎がリフレッシュ! より一層の県民サービスの向上を図るとともに執務環境を改善するため、南那須庁舎及び下都賀庁舎の本館部分がリフォームされました。主な改善点は①耐震等建物構造補強、②玄関ロビーの充実、③エレベーターの設置、④身体障害者用のトイレの設置、⑤電気、給水管等改修、⑥OAフロア整備などです 問合せ 県管財課 ☎028-623-2075

- 満65歳以上の方へ 県立文化施設が無料開放されます 老人保健福祉週間行事の一環として、下記の期間中、県内在住の満65歳以上の方(入館日現在)に県立文化施設の観覧料を全額免除します 期間 9月15日(水)~21日(火)(ただし休館日は除く) 対象施設 県立博物館、県立美術館、しもつけ風土記の丘資料館、なす風土記の丘資料館、とちぎ花センター、日光自然博物館、花ちよう遊館、とちぎ明治の森記念館 手続き受付で免許証や年金手帳など、氏名、生年月日、住所等の分かるものを提示 問合せ 県高齢対策課 ☎028-623-3048

## しせつ

### 栃木県立日光自然博物館

- 自然と文化が息づく日光の情報発信基地 日光自然博物館は、日光の優れた自然や文化を楽しみながら知ることのできる施設です。見所は、1階の四季彩ホール。3面マルチ映像の大迫力画面に映し出される日光の四季は、多くの人々を魅了しています。 また、エントランスホールでは、解説員や情報板等により日光の自然に関する最新の情報を提供しています。こちらは無料で利用できますので、お気軽にお立ち寄りください。 所在地 日光市中宮祠2480-1 観覧料 (映像・展示室観覧) 大人810円、子供400円 (団体割引あり) 問合せ 同博物館 ☎0288-55-0880



- ◎8月から日光自然博物館のホームページを開設しています。開花状況や紅葉状況、自然観察会の予定などについて、写真を交えながら最新の情報を提供しています。日光にお出かけの際は、ぜひ事前にご覧ください。 ●ホームページアドレス <http://www.ntl-net.ne.jp/nikkonsmuseum/> ◎とちぎテレビで同博物館の施設紹介が放送されます。 ●番組名 「クローズアップとちぎ」 ●放送日 9月25日(土)午前9時~(再放送)9月27日(月)午後10時~

## 番組

### 栃木県提供の番組

#### 【とちぎテレビ】

- 番組名 「とちぎ教育新事情」 毎週日曜日 10:05~10:20 (再放送) 水曜日 10:45~11:00 県内の小学校や中学校、県立学校でいきいきと活動している子どもたちの様子を紹介します。また、生涯学習・スポーツ・文化財についての情報、県立博物館や県総合教育センター等の各種教育施設の紹介や企画展・講演会の案内など、県内の教育界の最新情報や話題をお伝えしていきます。

◎県提供教育番組に関するお問い合わせは 県教育委員会総務課 ☎028-623-3360

- 番組名 「ここが知りたい『栃木の教育』」 毎月第2土曜日 10:05~10:20 今の栃木県の教育界で問題や話題になっていることを取り上げ、県民の方々や有識者のご意見を伺いながら、その解決へ向けての方策を視聴者の方々と共に考えていく番組です。

#### PICK UP

- 9月19日 「ここが魅力です、県立高校」
- 9月26日 世界遺産シリーズⅢ 「日光東照宮探訪①」
- 10月3日 「教育Now!」



西方町立西方中学校でのロケ風景